



木更津市立木更津第二中学校
〒292-0801 千葉県木更津市請西941番地
☎0438(36)2280 FAX0438(36)2233
E-mail:kisarazu2-j@kisarazu.ed.jp
<https://www.fureai-cloud.jp/kisa-kisarazu2-j>



木二中 学校だより 令和7年6月2日
No.09/94 校長 山元 竜二

Confirmation bias (確証バイアス)に惑わされていませんか？

20250514

総務省の「令和5年 情報通信に関する現状報告の概要」、いわゆる「情報通信白書 第3節インターネット上の偽・誤情報の拡散等」によれば、私たちが利用するインターネットの便利な機能が、一方では民主主義を危険にさらす可能性もありうる」のだそう。【法務省HPトップ>政策>白書>令和5年版 参照】

どういうことかと言うと、フィルターバブル、エコーチェンバーといった現象が私たちユーザーをインターネット上で二極化させ、双方(あるいは片方)が意見や思想を大きく偏らせてしまうことで社会の分断を誘因するということが報告されているのです。

私もどちらかと言えばインターネットのヘビーユーザー、Amazonやヤフーショッピングでよく買い物もするし、ニュースチェックはもちろん、様々な情報をインターネットから収集、そして家族や仲間とのコンタクトにはSNSも利用しています。(ただし、一つに偏らないようテレビや新聞といった様々な媒体から情報収集することを心がけていますが…)

どういった便利な機能が社会の分断を生むのか(既に分断している!?)。簡単に言うと次のとおりです。

Amazon、楽天といったマーケットプレイス、あるいはFacebookやX、Line、TikTokといったソーシャルメディアやクラウドサービスなどのいわゆるプラットフォーム事業者は、私たちユーザー個人の閲覧履歴などを基に収集したデータをプロファイリング(分析)し、その人に適した情報や商品、サービスなどを推奨する仕組み(レコメンデーションシステムという)を活用することで、ユーザーが関心を持ちそうな情報を優先的に配信しています。そう言えば、あるキーワードについてネット検索すると望んでもいないのに「〇〇は見つかりましたか?」とか、「〇〇に興味をお持ちですか?」といったメールが届いたりしませんか? もっと簡単に言えば、「あなたにぴったりのおすすめ」を頼んでもいないのに提供してくれる「アレ」です。

このようなプラットフォーム事業者の便利な機能によって、私たちユーザーは、インターネット上の膨大な情報・データの中から自身が求める情報だけを得ることができる反面、同じ情報(偏った情報)を受け取り続けることによって、ユーザーは、自身の興味のある情報だけにしか触れなくなり、あたかも情報の膜につつまれたかのような「フィルターバブル」と呼ばれる状態となるのだそうです。このバブルの内側では、当然のように自分と似た考え・意見が多く集まることになり、それ以外はすべて排除されるため、その存在そのものに気づかないと言われています。

同様に、SNS等で自分と似た興味関心を持つユーザーだけが集まる場でコミュニケーションする結果、自分と同じ考えや思想の持ち主ばかりが集まり、その特定の意見や偏った思想が増幅されていく状態を「エコーチェンバー」と呼び、何度も何度も同じような意見を聞くことで、それが正しく、あたかも間違いのないものであるとより強く信じ込んでしまう傾向にあるのだそう。(おそろしい…)

最近、国内外の「選挙」のニュースを見ていても、選挙における「SNS戦略」みたいなことをよく耳にするようになりましたが、政治家たちがこぞってSNSを通じて政策をアピールするようになったのも何だか頷けますよね。大手既存メディアに対する不信感が選挙結果に大きな影響を与えた、なんていうニュースもまだ記憶に新しいところでもあります。

いずれにしても私たちネットユーザーは、知らず知らずのうちにフィルターバブルやエコーチェンバーによって自分にとって都合のよい情報ばかりを集めることになり、自身が既に持っている先入観や仮説を肯定する「確証バイアス」に陥ってしまう危険があるということを自覚しておかなければならないということだと思います。「確証バイアス」は認知バイアスの一種で、自分の思い込みや周囲の要因によって非合理的な判断をしてしまう心理現象のことだということから、なおさらそれが集団になれば国家社会をも分断するおそれがあるというのも容易に理解できるのではないのでしょうか。「〇〇から聞いた」とか、「〇〇が言っていた」とか。あるいは確かめもしないで「〇〇だったと思う」とか。何事も自分の目で、耳で、足で、そして心の眼で本質を見抜く力(ファクトチェック)がこれからの時代に不可欠なスキルになるのだと私は思います。(5.14千葉日報によれば、SNSを通じて流布された15種類の偽情報のうち一つでも「正しいと思う」と誤認した人は47.7%に上った。)